

東京都青梅市

## 「品質第一主義」の小型モータ製造・販売 地域企業と連携したSDGs対応サービス

株式会社サーテックは、2011年に(株)横河サーテックの事業譲渡を受けて設立。設立当初より受継いだ「小型ギヤードモータ製造・販売事業」を主力とする。「品質第一主義」を掲げ、製品やサービスに対する顧客の信頼と満足度を求めて蓄積した技術力・ノウハウを最大限に活かし、地域企業と連携した「受託金属加工・OEM製造」、環境問題やコスト削減に役立つ「環境・エコロジー事業」といった新分野における事業展開を目指す。

●所在地	東京都青梅市根ケ布1-380	●設立	2011年
●電話/FAX	0428-22-5111/0428-22-5115	●資本金	2,000万円
●URL	<a href="http://www.stc-m.co.jp/">http://www.stc-m.co.jp/</a>	●従業員数	80人
●代表者	代表取締役社長 柳内 剛		



### 「品質第一主義」を根幹としたサーテックブランドの確立

主力事業となる小型モータは、半導体製造装置の純水の配管バルブ、ビル空調装置等と様々な用途に使われている。顧客要望に寄り添った設計・製造を行い、製品供給からメンテナンスに至るまでの一貫した対応は、顧客から高い信頼と評価を得ている。加えて、「品質第一主義」を掲げ、小型モータ及びその速度とトルクを制御する変速機に至る部品をほぼ自社内で製造することで、顧客満足度は向上している。このようにして確立したサーテックブランドは、同社の価値向上に大きく寄与している



「品質第一主義」で製造される小型モータ

### IoT活用による連携企業間の生産情報見える化を推進

「受託金属加工・OEM製造」において、外部の連携企業間との開発・製造などの連携を強化するため、「IoT活用による連携企業間見える化」を推進した。連携企業間で共通の機械装置を設置し、クラウドで稼働情報を共有する生産体制を構築。これにより、各連携企業が持つ高品質な技術と設備を効率的に活用し、多品種・少量生産が可能となった。この結果、生産量の変動や不測の事態等にも迅速に対応可能となった。こうして顧客からの要求へ柔軟な対応を行うことで、新たな顧客獲得に繋がった。



高品質な金属加工が可能な設備

### 環境・エコロジー事業でSDGs達成の一翼を担う

小型モータ事業のなかで課題となっていた環境負荷の問題に着目し、事業連携パートナーとの協同によるSDGsビジネスプロジェクトを立ちあげ、オイルリユースサービスを開始した。オイルリユースサービスとは、使用済みの不水溶性の油（洗浄油や切削油等）の不純物を、超音波を活用した小型装置等で除去し、潤滑油としてリユースするサービスである。貴重な資源を節約し、CO2と産業廃棄物の削減を図ることで地球環境に配慮しながら、顧客に廃油処理や新油購入費用削減のコストメリットを提供する。



オイルリユースサービスの処理効果の例